

院内助産について(説明書・同意書)

富山赤十字病院の院内助産の目的は

妊娠中の身体をセルフコントロールし、自分の力で自然なお産をしたい女性とその家族を支えることで、お産の達成感とその後の新たな生活への意欲を高めていただくことです。そのための支援を助産師が中心となって行います。

助産師がさせていただくこと

- ① 安全でスムーズなお産に向けての健康管理のための支援
- ② 希望されるバースプランへの助言
- ③ お産の際、産む力を最大限に引き出す支援
- ④ 母子の安全のための異常の早期発見
- ⑤ お産の振り返りと、産後の授乳や育児への支援

対象となる方の基準

- ① 分娩予定日時点での年齢 初産婦:20歳以上 35歳未満 経産婦:20歳以上 40歳未満である
- ② 身長が150cm以上であり、妊娠前のBMIが25未満である
- ③ 血圧が140/90mmHg以下である
- ④ これまでの妊娠、分娩に異常がない
- ⑤ 現在治療中の疾患がない(過去の疾患においては医師の許可があれば可)
- ⑥ 感染症がない(風疹抗体が基準内である、HBs抗原・HCV抗体、梅毒、HIVが陰性である)
- ⑦ 胎児が単胎で、頭位である
- ⑧ 禁煙・禁酒ができる
- ⑨ 妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、切迫早産(入院治療を必要とするもの)と診断されていない
- ⑩ 胎児に異常がなく、発育が正常範囲内である
- ⑪ 胎盤の位置・羊水量に異常がない
- ⑫ 体重増加は1週間に500g以上が連続2回以上にならない。かつBMIに見合った増加の範囲内である
- ⑬ 妊娠後期のヘモグロビン(血色素量)は9.5g/dl以上である
- ⑭ 医師の許可があり、助産師との面談を経て、本人・夫が院内助産に同意されている
- ⑮ 分娩の開始が37週以降 41週0日以前である

* 妊娠経過中に、上記の基準よりはずれた場合には、医師と助産師の検討により、院内助産の予定を中断する場合があります。

* 助産師が介助できるのは正常分娩のみです。分娩経過中に少しでもリスクを予測した場合や、異常が起こった場合は、医師との連携を取り、場合によっては安全の優先のため、通常の分娩と同様のケア・処置をさせていただくことがあります。

妊娠中の関わり

- ・24 週以降は、原則として一般の妊婦健診(医師)と助産外来を交互に受診します。助産師は曜日ごとのチーム担当制です。40 週以降は医師の妊婦健診となります。
 - ・助産師との関わりから、希望されるお産について互いに共通理解を図り、バースプランを一緒に考えていきます。また健康管理のための支援をさせていただきます。
 - ・原則として、当院開催の安産教室1～4 コースに参加していただきます。
 - ・必要時ご家族との話し合いをさせていただきます。
- * 申し込みをされたあと、取り止めを希望される方はお申し出下さい。

分娩時の関わり

- ・陣痛が始まってから出産までの時間には個人差があります。入院の時期はご本人の希望やお産の進み具合によって決めます。
- ・担当の助産師は勤務の関係上、担当チーム以外の者となる場合があります。また、途中で交代する場合があります。
- ・陣痛の間は特に活動制限はなく、自由に過ごしていただけます。飲食も自由にできます。
- ・立ち会いについての制限はありませんが、妊娠中からご本人・ご家族で話し合われた上で、事前にスタッフにお知らせ下さい。また、立ち会い予定されていても、体調のすぐれない方(特に発熱や嘔気嘔吐、下痢等の症状のある方)は、ご本人と赤ちゃんのためにお断りさせていただきます。
- ・お子様が立会いをされる場合は、安全のため、必ず産婦さん以外の保育者の方と一緒にお願いします。
- ・お産は何が起こるか分からない予測不可能な側面を持つ生理的な現象です。言い換えれば「100%の命の保証」をすることはできません。お母さんと赤ちゃんの安全を優先するための医療的介入をやむを得ない場合もあります。その時その時に最も良い方法を一緒に考えながら支援させていただきます。

(胎児心拍測定)

- ・分娩監視装置によるモニタリング・ドップラーによる児心音聴取を行います。

(薬剤)

- ・お産が近くなれば、緊急時の対応のために血管確保をさせていただきます。また分娩時の応急処置として、下記の薬剤を医師の指示の下に使用することを事前に医師と取り決めていきます。

- ① GBS 感染・抗生物質の静脈注射
- ② 破水・抗生物質の内服

(会陰切開)

- ・会陰切開はしません。
- ・裂傷があった場合は医師が診察の上、処置をいたします。

(医師の立ち合い)

- ・赤ちゃんの誕生時には、緊急時の対応に備え、医師も待機しています。

入院中の関わり

- ・一般の褥婦さんと同様の対応となります(母子同室制です)。

- ・お産に立ち会った助産師とご家族と一緒に、お産の振り返りをいたします。
- ・毎日医師の回診があります。必要時は内服処方や注射、診察があります。
- ・4日目に医師による退院診察があります。
- *感染症の流行期には、面会制限をさせていただいております。

退院後一ヶ月健診までの関わり

- ・赤ちゃん健診(助産師による2週間健診)
- ・必要時は母乳外来
- ・24時間電話相談
- ・1ヶ月健診 赤ちゃんは小児科医の診察です。お母さんは産科医の診察です。
助産師も関わらせていただきます。

・「産むのは私」と自分らしい出産を選択されたあなた。お任せで産む時よりきっと、自分で産むことの実感を感じているのではないかと思います。しかしそれを選択し自分で決められた過程はこれからの子育て、ひいてはあなたの人生に大切な経験となるでしょう。

不明な点があればいつでも助産師にお尋ねください。

以上の内容を了解され、院内助産を希望される方は同意書の記載をお願いします。

同意書

上記の内容を理解しました。

富山赤十字病院において院内助産することに同意します。

平成 年 月 日

本人氏名 _____

(続柄) _____ :

説明助産師 _____

*この説明書、同意書は大切に保管してください